



73

株主の皆様へ  
第73期 事業報告

2018年12月1日 → 2019年11月30日



大阪有機化学工業株式会社  
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

<https://www.ooc.co.jp/> 証券コード 4187



代表取締役社長 上林 泰二

CONTENTS

- 01 株主の皆様へ
- 03 メッセージ
- 05 トピックス
- 06 株主アンケート結果のご報告
- 07 売上高の構成(連結)
- 08 事業フィールド
- 09-10 連結財務諸表
  - 連結貸借対照表
  - 連結損益計算書、連結包括利益計算書、
  - 連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュフロー計算書
- 11-12 個別財務諸表
  - 個別貸借対照表
  - 個別損益計算書、個別株主資本等変動計算書
- 13 会社概要
- 14 株式の状況
- 15 株主メモ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご指導を賜わり有難く厚く御礼申し上げます。

当社第73期(2018年12月1日から2019年11月30日まで)の決算を行いましたので事業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向が持続いたしましたが、輸出を中心に弱さもみられ、米中の貿易摩擦問題の長期化による影響など、先行きは不透明な状況で推移しております。

また、化学工業界におきましては、企業収益は高い水準にあるものの、海外経済の回復の鈍さなどから、生産に弱さが見られております。

このような状況の下で当社グループは、2015年11月期よりスタートしました10ヶ年の長期経営計画「Next Stage 10」の目標達成に向けて、各種施策に取り組んでおります。化成系事業におきましては、選択と集中による製品の更新代謝を図り、優位性のある製品の拡販に努めるとともに、グローバルに市場が拡大するUVインクジェットプリンター向けに特殊インク用原料の拡販に注力いたしました。電子材料事業におきましては、次世代半導体材料開発の強化に

よるトップシェアの確保及び新規ディスプレイ材料の拡販に努めてまいりました。機能化学品事業におきましては、機能性ポリマーの開発を促進するとともに、化粧品原料や特殊溶剤の拡販に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は286億3千8百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は36億6千3百万円(前年同期比0.1%増)、経常利益は38億3千3百万円(前年同期比2.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は30億3千5百万円(前年同期比13.3%増)となりました。

当社は、長期的な観点に立ち財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主の皆様へ安定的かつ継続的な利益還元を実施することを経営の重要政策と位置付け、会社の業績や今後の事業計画に備えた内部留保の充実等を勘案してバランスをとりつつ、配当性向30%を重要な指標のひとつとし、業績に応じた配当額を決定いたします。

当期(2019年11月期)の配当につきましては、当初1株当たり36円(第2四半期18円、期末18円)としておりましたが、投資有価証券売却益、受取保険金等により、当期純利益が大幅に向上したため、基本方針に基づき期末の配当を4円増配の22円(年間配当

40円)とさせていただきます。また、2020年11月期の配当につきましては、業績予想に鑑み1株当たり年間40円(第2四半期20円、期末20円)を予定しております。

第74期(2019年12月1日から2020年11月30日まで)におきましては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、引き続き国内景気は緩やかな回復に向かうと見込まれます。しかしながら、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動など、わが国の景気が下押しされるリスクもあり、先行きの不透明な状況が続くと予想されます。

このような情勢の下、当社グループといたしましては、製品の徹底した品質管理と安全性の確保を第一に、販売の強化と生産コスト及び経費の削減を行い、高度な研究開発力を更に強化し、新規製品開発に取り組んでいくとともに、全社での製品生産体制の合理化と業績の向上を目指し、一層の財務内容の健全化を進める所存であります。

今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年2月

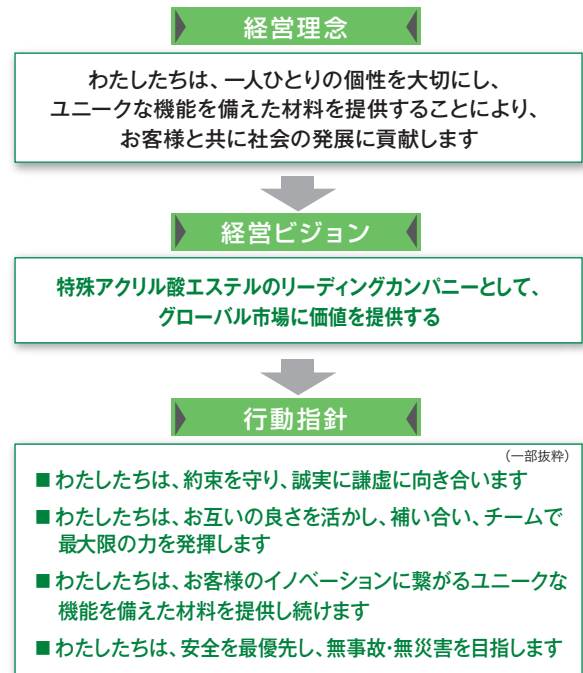
代表取締役社長 上林 泰二

## 中長期経営計画について

### 会社の経営の基本方針

当社グループは、経営理念、経営ビジョン、行動指針から成る理念体系の下、当社グループ全員がそれらを理解し、目標と価値観を共有して行動してまいります。優れた生産活動を通じて地域社会の秩序を守り、社会と産業界の進歩と発展に貢献することにより、ステークホルダーの皆様への期待に応え続ける企業であることを目指してまいります。

#### 理念体系



#### ●キャッチフレーズ

見えないけれど、あなたのそばに

### 目標とする経営指標

2015年11月期より10ヶ年の長期経営計画「Next Stage 10 (NS10)」(2015年11月期から2024年11月期)をスタートし、その目標を実現するために様々な施策を実行してまいりました。その結果、早期に目標を達成できる見込みとなったことから、2018年度に目標を見直しました。また、NS10第2次5ヶ年中期経営計画(2020年11月期から2024年11月期)を新たに策定し、さらなる事業拡大と高収益化を目指すこととしております。

なお、NS10第2次5ヶ年中期経営計画において、当社グループは、連結売上高及び連結営業利益率に加え、ROEを目標とすべき重要経営指標と位置づけしており、その目標を下記のとおり設定しております。

2024年11月期 達成目標	当初目標 (2015年1月公表)	修正目標 (2018年1月公表)	第2次中計目標 (2019年11月公表)
連結売上高	300億円以上	350億円以上	370億円以上
連結営業利益	30億円以上	35億円以上	50億円以上
連結営業利益率	10%以上	10%以上	13.5%以上
ROE	-	-	10%以上

### 経営戦略、経営環境及び対処すべき課題

当社グループは、製品の徹底した品質管理と安全性の確保を第一に、販売の強化と生産コスト及び経費の削減を行い、高度な研究開発力を更に強化し新規製品開発に取り組み、全社での製品生産体制の合理化と業績の向上を目指し、一層の財務内容の健全化を進める所存であります。また、NS10第2次中期経営計画を実現すべく、各セグメントは以下の諸施策を実行してまいります。

#### <化成品セグメント>

製品の統廃合を進め、採算性の向上を図ってまいります。また、市場競争力のある製品、市場拡大が期待される用途の製品におきましては、販売体制のグローバル化を推進し、

海外顧客向けの販売拡大に努めてまいります。UVインクジェット等、現時点で特に注視している分野においては、研究開発にも大きくリソースをかけて対応し、シェアの拡大を目指してまいります。

#### <電子材料セグメント>

表示材料におきましては、既存製品の収益を確保しつつ、マイクロLED等の次世代材料、配線材料等の周辺材料へ展開し、ミクロンオーダーのレジスト、コーティング市場をターゲットとして開拓を進めてまいります。

半導体関連材料においては、ArFレジスト用モノマー等の既存材料のシェア拡大に努めながら、次世代のEUVレジスト用モノマー及び周辺材料などの新規分野への参入を目指してまいります。

#### <機能化学品セグメント>

化粧品分野におきましては、機能性を付与したスキンケア化粧品原料の開発と上市を進め、グローバルな視野で販売の拡大を目指してまいります。機能材料分野においては、既存品の安定供給体制を維持しつつ、新規塗料用材料、超親水性コーティング材、先端医療材料等の新規開発および早期上市を目指してまいります。

#### <新規事業>

特殊アクリルをベースに新しい価値を創造し、大阪有機の未来を担う新製品の開発に取り組んでおります。センサ・IoT関連分野、ロボティクス分野など、近い未来におきまして急拡大が見込まれる市場に向けた材料開発に、特に注力してまいります。

## コーポレートガバナンスの充実について

さらに、「企業の社会的責任の実現と企業価値の向上」を目指し、当社は、コーポレートガバナンスの充実が重要課題であると認識しており、当社グループにおけるコーポレートガバナンスは公正な企業活動を期すとともに、経営の透明性を高め経営システムの効率性とスピードの向上を目的とし、かつ、

会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るための仕組みと捉えており、社内外とのゴーイング・コンサーン(事業活動の継続)の共通認識を醸成しながらコーポレートガバナンスの充実を重要な経営課題とし、その向上と改善に取り組んでおります。

また、内部統制システムの構築・推進、内部統制委員会でのコンプライアンス及びリスク管理の強化や安全・環境・品質を重視し、ISO-9001、ISO-14001、OHSASを推進するとともに、株主、顧客、取引先、当社従業員および地域社会等のステークホルダーにとって魅力ある企業を目指すことで、長期的な観点に立ち財務体質と経営基盤の強化を図り、事業強化と適切な利益配分により企業価値の向上を目指してまいります。

## 今期業績予想

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、引き続き国内景気は緩やかな回復に向かうと見込まれます。しかしながら、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動など、わが国の景気が下押しされるリスクもあり、先行きの不透明な状況が続くと予想されます。

このような情勢の下、当社グループといたしましては、製品の徹底した品質管理と安全性の確保を第一に、販売の強化と生産コスト及び経費の削減を行い、高度な研究開発力を更に強化し、新規製品開発に取り組んでいくとともに、全社での製品生産体制の合理化と業績の向上を目指し、一層の財務内容の健全化を進める所存であります。

これらを勘案し、今期業績目標は売上高296億円、営業利益37億円、経常利益39億円、親会社株主に帰属する当期純利益26億円を予定しております。

## 設備投資の状況

今期の設備投資といたしましては、今後の事業展開と収益の強化のため、電子材料設備増強、化成品設備増強、環境関連、大阪研究棟建設などを予定しております。

## 金沢工場 半導体関連材料の新規設備稼働

金沢工場（石川県白山市）に半導体レジスト用モノマーの新規設備を建設し、最先端であるArF用及びEUV用モノマーの供給体制を整えました。

新規設備は、総工費約22億円、鉄骨造り4階建て、延べ床面積1078㎡であります。金属不純物の混入を防止するため、当社としては初めてとなるテフロン製の反応・精製装置とクリーンルームを導入し、設備、環境からの金属混入を極限まで下げることができます。

今回の新規設備により、従来のArF用モノマーの供給力は約1.5倍となり、最先端レジスト用モノマーのより厳しい品質に対応し、供給面としてもトップシェアとしての地位を確立してまいります。



建屋外観

## 大阪事業所 新研究棟建設着工

大阪事業所内におきまして、2020年11月の開所を目指し、新たに研究棟の建設に着工しました。

新研究棟は、当社の中核をなす研究施設として既存事業の研究開発に留まらず、新規事業の創出拠点としての機能も兼ね備えた最新鋭の研究施設といたします。

新研究棟では、さまざまな要望に柔軟に対応できる施設にすることはもちろんのこと、環境との共存も意識した「光と緑と創造」をコンセプトに掲げ、環境に配慮した設計となっております。また、当社に在籍する研究者だけでなく、当社と関連する研究者がシームレスに連携し、安全かつ効率的に研究開発に従事できる環境を整えた研究施設になることを想定しております。

この新研究棟におきまして、我々が磨き上げた強みを結集し、当社コア技術の強化に加えて近い将来、社会に役立つ次世代材料の開発にも力を注ぎ、自然と社会の調和に配慮した価値ある材料を市場にいち早く提供することに尽力してまいります。



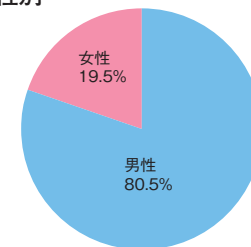
完成予想図：研究棟外観



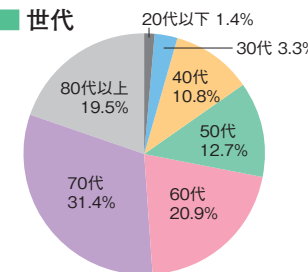
完成予想図：厚生棟（併設）外観

当社では、株主の皆様のご意見・ご要望を今後の経営やIR活動の参考にさせていただくため、2019年8月の「第73期中間事業報告」に同封してアンケート調査をさせていただきました。その結果、全株主の11.5%にあたる439名の方からご回答をいただきました。アンケートの調査結果につきまして、その一部をご報告いたします。

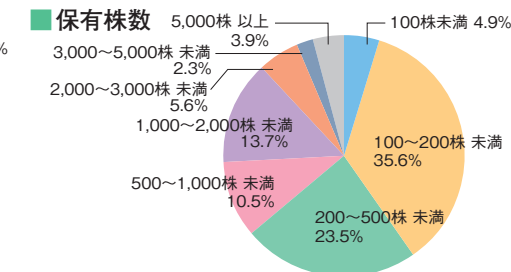
### 性別



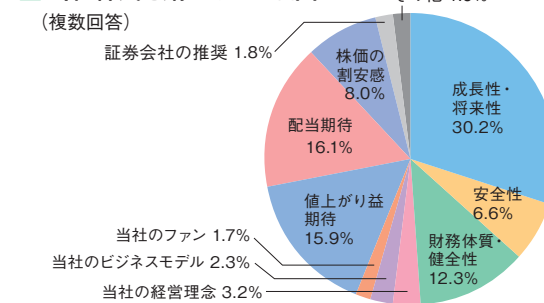
### 世代



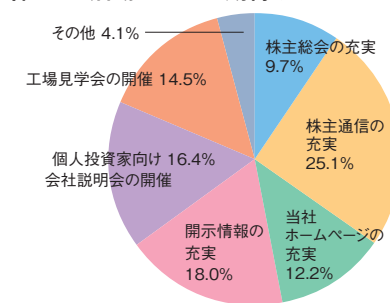
### 保有株数



### 当社株式を購入された理由



### 今後の当社のIR活動について期待されること



今回のアンケートで皆様から頂きましたご意見・ご要望を、今後のさらなる企業価値の向上に生かすために取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 個人投資家向け会社説明会（東京・大阪にて開催）

当社では、公益社団法人 日本証券アナリスト協会が主催する「個人投資家向けIRセミナー」（東京・大阪）にエントリーして、半期ごとに当社のご紹介をしております。

この説明会では決算のご報告のほか、事業内容や中期計画などについて分かりやすく説明しております。

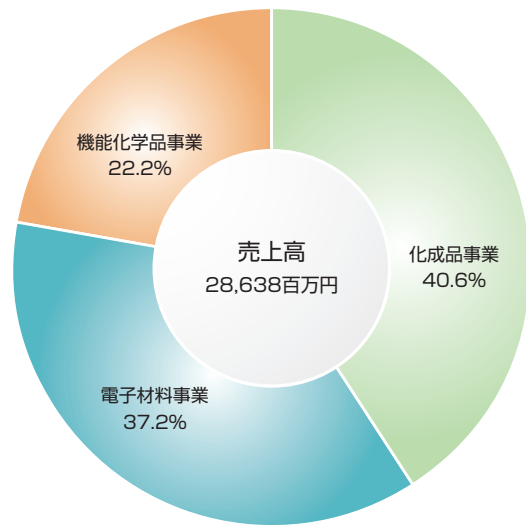
今回は、以下の日程で開催いたしました。

- 東京会場：2020年2月04日（火） 於：日経茅場町カンファレンスルーム（東京都中央区日本橋茅場町2-6-1）
- 大阪会場：2020年2月12日（水） 於：大阪銀行協会（大阪市中央区谷町3-3-5）

今後も定期的に開催してまいりますので、株主の皆様にも機会がございましたら是非ご参加ください。

\*詳しくは当社ホームページにてご確認ください。 URL:<https://www.ooc.co.jp/>

連結



連結経営成績 \*セグメント間取引を含まない

● 化学品事業 主要製品: ● 塗料用原料 ● インキ原料 ● 粘接着剤原料

化学品事業におきましては、アクリル酸エステルグループは、自動車塗料用や光学材料向け粘着剤用の販売が堅調に推移し、売上高は増加いたしました。メタクリル酸エステルグループは、販売が低調に推移し、売上高は減少いたしました。また、販管費の減少により、セグメント利益は増加いたしました。この結果、売上高は116億3千6百万円(前年同期比3.7%減)、セグメント利益は7億9千3百万円(前年同期比25.4%増)となりました。

● 電子材料事業 主要製品: ● 表示材料関連 ● 半導体材料関連

電子材料事業におきましては、半導体材料グループは、需要が好調に推移し、売上高は増加いたしました。表示材料グループは、液晶ディスプレイ市場の低迷により、売上高は減少いたしました。また、表示材料グループの売上高の減少及び半導体材料グループの新規設備の稼働開始に伴うコスト増加により、セグメント利益は減少いたしました。この結果、売上高は106億6千万円(前年同期比2.8%増)、セグメント利益は20億9千7百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

● 機能化学品事業 主要製品: ● 化粧品基剤 ● 特殊溶剤、その他

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループは、販売が低調に推移し、売上高は減少いたしました。機能材料グループは、売上高は減少いたしました。また、利益率の高い製品比率の減少によりセグメント利益は減少いたしました。この結果、売上高は63億4千万円(前年同期比6.8%減)、セグメント利益は7億8千7百万円(前年同期比5.3%減)となりました。



自動車塗料



インキ・粘接着剤



液晶テレビ



半導体



ヘアスタイリング剤

● 化学品事業

塗料用原料  
インキ原料  
粘接着剤原料

● 機能化学品事業

化粧品基剤  
特殊溶剤  
その他

● 電子材料事業

表示材料関連  
半導体材料関連



連結貸借対照表

科目	当期 2019.11.30現在	前期 2018.11.30現在
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	7,642	6,477
受取手形及び売掛金	8,287	7,667
電子記録債権	526	427
有価証券	-	299
製品	3,233	3,099
仕掛品	1,789	1,441
原材料及び貯蔵品	1,415	1,260
その他	77	58
貸倒引当金	△ 12	△ 12
<b>流動資産合計</b>	<b>22,960</b>	<b>20,719</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	6,351	5,822
機械装置及び運搬具	4,052	2,977
土地	2,225	2,226
建設仮勘定	1,745	1,521
その他	525	387
<b>有形固定資産合計</b>	<b>14,900</b>	<b>12,934</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	-	66
その他	78	27
<b>無形固定資産合計</b>	<b>78</b>	<b>93</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	5,485	6,150
退職給付に係る資産	134	172
繰延税金資産	22	14
その他	266	164
貸倒引当金	-	△ 35
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>5,907</b>	<b>6,467</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>20,887</b>	<b>19,495</b>
<b>資産合計</b>	<b>43,848</b>	<b>40,214</b>

(単位:百万円)

科目	当期 2019.11.30現在	前期 2018.11.30現在
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	4,166	3,812
1年内返済予定の長期借入金	811	535
未払金	2,600	2,219
未払法人税等	647	690
賞与引当金	76	-
役員賞与引当金	59	78
その他	420	412
<b>流動負債合計</b>	<b>8,782</b>	<b>7,748</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,817	823
繰延税金負債	456	666
その他	244	312
<b>固定負債合計</b>	<b>2,518</b>	<b>1,803</b>
<b>負債合計</b>	<b>11,301</b>	<b>9,552</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	3,508	3,508
利益剰余金	23,752	21,538
自己株式	△ 441	△ 449
<b>株主資本合計</b>	<b>30,419</b>	<b>28,198</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	2,055	2,421
為替換算調整勘定	△ 20	△ 9
退職給付に係る調整累計額	△ 220	△ 210
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>1,814</b>	<b>2,202</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>313</b>	<b>261</b>
<b>純資産合計</b>	<b>32,546</b>	<b>30,662</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>43,848</b>	<b>40,214</b>

連結損益計算書

科目	当期 2018.12.1から 2019.11.30まで	前期 2017.12.1から 2018.11.30まで
売上高	28,638	29,257
売上原価	21,060	21,494
売上総利益	7,578	7,763
販売費及び一般管理費	3,914	4,103
営業利益	3,663	3,660
営業外収益	223	303
営業外費用	53	28
経常利益	3,833	3,935
特別利益	371	368
特別損失	24	434
税金等調整前当期純利益	4,181	3,868
法人税等合計	1,092	1,152
当期純利益	3,088	2,715
非支配株主に帰属する当期純利益	53	38
親会社株主に帰属する当期純利益	3,035	2,677

(単位:百万円)

連結株主資本等変動計算書

科目	当期 2018.12.1から 2019.11.30まで	前期 2017.12.1から 2018.11.30まで
<b>純資産合計</b>		
当期首残高	30,662	29,698
当期変動額		
剰余金の配当	△ 819	△ 712
親会社株主に帰属する当期純利益	3,035	2,677
自己株式の取得	△ 0	△ 449
自己株式の処分	5	6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 336	△ 557
当期変動額合計	1,884	964
当期末残高	32,546	30,662

(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 2018.12.1から 2019.11.30まで	前期 2017.12.1から 2018.11.30まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,506	3,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,739	△ 1,737
財務活動によるキャッシュ・フロー	432	△ 1,738
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 34	△ 7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,165	△ 3
現金及び現金同等物の期首残高	5,177	5,180
現金及び現金同等物の期末残高	6,342	5,177

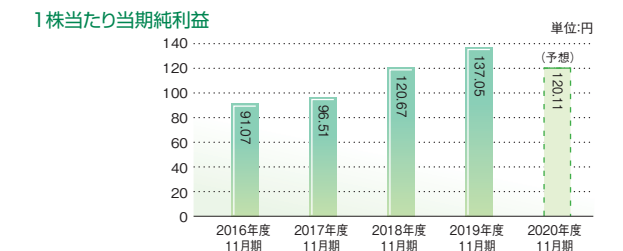
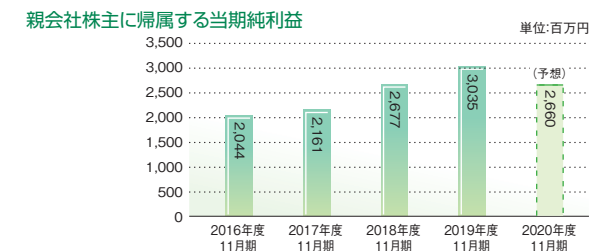
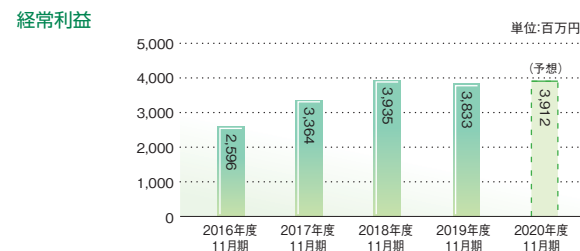
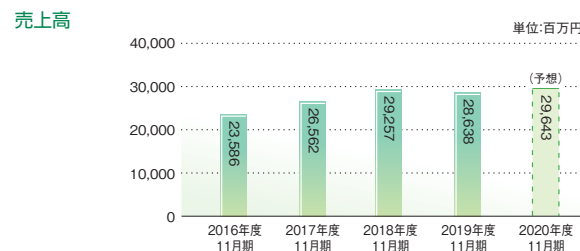
(単位:百万円)

連結包括利益計算書

科目	当期 2018.12.1から 2019.11.30まで	前期 2017.12.1から 2018.11.30まで
当期純利益	3,088	2,715
その他包括利益	△ 388	△ 593
包括利益	2,699	2,122
親会社株主に係る包括利益	2,647	2,084
非支配株主に係る包括利益	52	38

(単位:百万円)

業績の推移





## 個別貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当 期 2019.11.30現在	前 期 2018.11.30現在
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	6,739	5,737
受取手形	52	60
電子記録債権	526	427
売掛金	7,603	6,905
有価証券	-	299
製品	3,134	3,001
仕掛品	1,481	1,197
原材料及び貯蔵品	1,429	1,176
その他	95	79
貸倒引当金	△ 8	△ 8
<b>流動資産合計</b>	<b>21,054</b>	<b>18,877</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	4,865	4,363
構築物	877	859
機械装置	3,828	2,785
車両運搬具	6	8
工具器具備品	458	329
土地	2,107	2,108
リース資産	53	44
建設仮勘定	1,745	1,521
<b>有形固定資産合計</b>	<b>13,943</b>	<b>12,022</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	-	66
特許権	4	4
ソフトウェア	74	20
リース資産	-	0
<b>無形固定資産合計</b>	<b>78</b>	<b>93</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	5,435	6,098
関係会社株式	430	430
長期貸付金	150	215
長期前払費用	27	-
前払年金費用	416	438
その他	208	119
貸倒引当金	△ 0	△ 35
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>6,667</b>	<b>7,265</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>20,688</b>	<b>19,380</b>
<b>資産合計</b>	<b>41,742</b>	<b>38,258</b>

(単位:百万円)

科目	当 期 2019.11.30現在	前 期 2018.11.30現在
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	3,552	3,216
1年内返済予定長期借入金	714	425
未払金	2,462	2,097
未払費用	160	158
未払法人税等	564	605
預り金	170	165
賞与引当金	68	-
役員賞与引当金	42	64
その他	37	26
<b>流動負債合計</b>	<b>7,772</b>	<b>6,761</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,638	547
繰延税金負債	551	752
資産除去債務	61	62
その他	161	222
<b>固定負債合計</b>	<b>2,413</b>	<b>1,585</b>
<b>負債合計</b>	<b>10,186</b>	<b>8,346</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株 主 資 本</b>		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	3,477	3,477
利益剰余金	22,880	20,878
自己株式	△ 441	△ 449
<b>株主資本合計</b>	<b>29,516</b>	<b>27,507</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	2,040	2,405
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>2,040</b>	<b>2,405</b>
<b>純資産合計</b>	<b>31,556</b>	<b>29,912</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>41,742</b>	<b>38,258</b>

## 個別損益計算書

(単位:百万円)

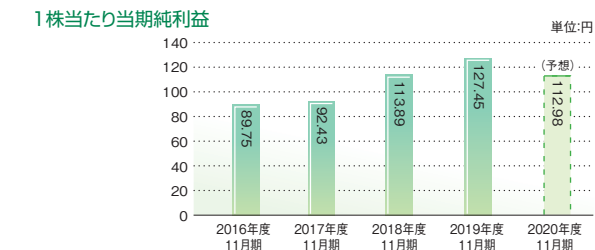
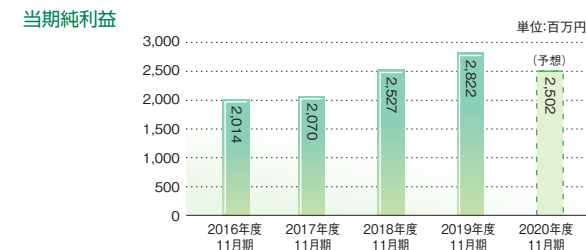
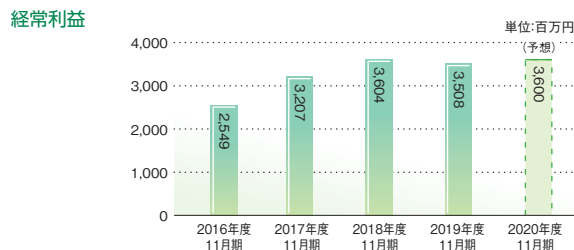
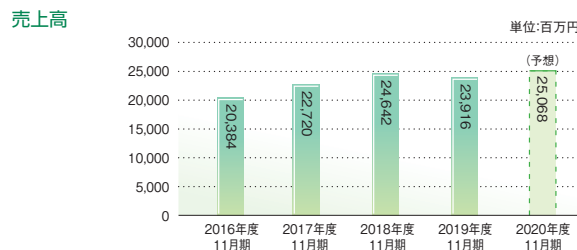
科目	当 期 2019.11.30まで	前 期 2018.11.30まで
売 上	23,916	24,642
売 上 原 価	17,089	17,592
売 上 総 利 益	6,826	7,049
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,492	3,711
営 業 利 益	3,334	3,338
営 業 外 収 益	220	296
営 業 外 費 用	46	29
経 常 利 益	3,508	3,604
特 別 利 益	290	334
特 別 損 失	12	371
税 引 前 当 期 純 利 益	3,786	3,568
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	1,019	1,010
法 人 税 等 調 整 額	△ 55	30
法 人 税 等 合 計	964	1,041
当 期 純 利 益	2,822	2,527

## 個別株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科目	当 期 2019.11.30まで	前 期 2018.11.30まで
純資産合計		
当期首残高	29,912	29,104
事業年度中の変動額		
剰余金の配当	△ 819	△ 712
当期純利益	2,822	2,527
自己株式の取得	△ 0	△ 449
自己株式の処分	5	6
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 364	△ 563
事業年度中の変動額合計	1,644	808
当期末残高	31,556	29,912

## 業績の推移



● 会社概要 (2019年11月30日現在)

商号	大阪有機化学工業株式会社
設立	1946年12月21日
資本金	3,600,295,546円
発行済株式総数	22,410,038株
株主数	3,808名
従業員数	381名
主な事業内容	各種エステル化製品、有機合成品、特殊化学品等の製造及び販売



本社 東京オフィス

● 本社及び事業所

本社	大阪市中央区安土町1丁目7番20号 TEL.06(6264)5071
東京オフィス	東京都中央区日本橋本町1丁目7番2号 TEL.03(6202)7051
金沢工場	石川県白山市松本町1600-1 TEL.076(276)6261
酒田工場	山形県飽海郡遊佐町藤崎字茂り松157番23 TEL.0234(71)5721
大阪事業所	大阪府柏原市片山町18番8号 TEL.072(978)6261
八千代事業所	千葉県八千代市大和田新田601番地 TEL.047(459)1271



● 子会社

会社名	住所	資本金	従業員数	事業内容
神港有機化学工業株式会社	神戸市東灘区住吉浜町18番地の26	55,000千円	41名	酢酸エステル等の製造販売
光碩(上海)化工貿易有限公司	上海市長寧区延安西路2299号2801室	210,000千円	5名	有機化学薬品関連商材の貿易・販売等

● 役員 (2020年2月27日現在)

取締役および監査役		
代表取締役社長	上林 泰二 (注)1	
取締役 (技術本部・事業開発室管掌)	安藤 昌幸	
取締役	本田 宗一	
取締役	小笠原 元見 (注)2	
社外取締役	濱中 孝之	
社外取締役	川上 尚貴	
常勤監査役	永柳 宗美	
社外監査役	檜山 洋子	
社外監査役	吉田 恭子	

(注) 1.上林泰二は、神港有機化学工業株式会社取締役を兼務しております。  
2.小笠原元見は、光碩(上海)化工貿易有限公司董事長を兼務しております。

● 執行役員

*専務執行役員	経営企画本部長	安藤 昌幸
常務執行役員	生産本部長 兼金沢工場長 兼八千代事業所長	榮村 茂二
*執行役員	管理本部長	本田 宗一
*執行役員	事業本部長 兼関係会社担当	小笠原 元見
執行役員	技術本部長 兼大阪研究所長	北川 大佳夫
執行役員	事業開発室長	鎮目 清明
執行役員	生産本部 酒田工場長	森 吉弘

(注)\*を付した執行役員は、取締役を兼務しております。

● 会計監査人 (2020年2月27日現在)

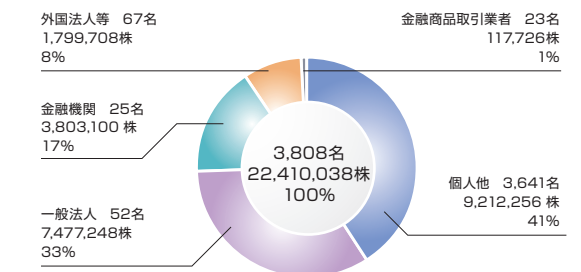
会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

● 株式の状況 (2019年11月30日現在)

発行済株式総数	22,410,038株	
議決権総数	221,407個	
株主数	3,808名	
大株主		
株主名	当社への出資の状況	
	持株数	出資比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,693千株	7.6%
WesternRedCedar株式会社	1,080	4.9
三菱ケミカル株式会社	986	4.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	770	3.5
JSR株式会社	700	3.2
鎮目泰昌	686	3.1
安川義孝	671	3.0
大阪有機化学従業員持株会	669	3.0
株式会社日本触媒	596	2.7
東亜合成株式会社	521	2.4

※出資比率は、発行済株式の総数から自己株式(262,111株)を控除して算出しております。

● 株式構成





# 株主メモ

## ● 株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	毎年2月
基準日	
定時株主総会関係	毎年11月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年11月30日
中間配当金受領株主確定日	毎年5月31日
公告の方法	電子公告 <a href="https://www.ooc.co.jp/">https://www.ooc.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-0044 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
単元株式数	100株 (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ● 株式事務手続き

特別口座に口座をお持ちの株主様	各種のお手続き、ご照会は特別口座管理機関および株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部へお問合せください。
特別口座から一般口座への振替請求	
単元未満株式の買取(買増)請求	
住所・氏名等のご変更	
特別口座の残高照会	
配当金の受領方法の指定	
郵便物等の発送と返戻に関するご照会	
支払期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問合せ	
証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続き	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。



ホームページアドレス <https://www.ooc.co.jp/>